Vol. 42 (2019年12月23日発行)

長野県農業農村多面的機能発揮促進協議会 長野市大字南長野字宮東 452-1 長野県土地改良会館別館 3 階 会 長 赤羽 昭彦

Y 師走の候

今年もいよいよ残りわずかとなってしまいましたが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか、また、この度の台風 19 号で被災された皆様方の一日も早い復興をお祈りいたします。

さて、今回の協議会だよりは、11 月 19 日(上伊那郡飯島町)、20 日(下伊那郡阿智村)に開催した技術研修会(水路の目地補修)と広域活動組織レポート(下伊那郡高森町)の取組みについてのご紹介をします。



▼ | | 技術研修会(水路の目地補修)

11 月 19 日(火) 上伊那郡飯島町(飯島町文化館)及び、20 日(水)下伊那郡阿智村(丸山ふれあいセンター)の2会場で、水路の目地補修について技術研修会を開催し、県内各地より 85 活動組織、述べ 160 名の皆様にご参加いただきました。

研修では、関東農政局土地改良技術事務所保全技術課 坂本良子係長を講師としてお迎えし、「コンクリート開水路の変状と簡易補修」をテーマに講義していただきました。また、実践研修では公募で参加いただいた4社の製品を、両会場近くの現場水路で実演・指導していただきました。

19日.飯島町会場





【講義】(飯島町文化館)





【実践研修】(飯島町農地・水・環境保全管理協定 水路)

20 日.阿智村会場





【 講 義 】(丸山ふれあいセンター)





【実践研修】(阿智村丸山集落 水路)

講義の中では、主として目地の補修を適正に施工する上での留意点等について説明がありました。 実践研修では目地補修をトライアン(株)、ホクエツ信越(株)≪19 日のみ≫、信越化学(株)、(株)ダイフ レックスの各企業の製品を持ち寄り、実演・製品の説明等をしていただきました。

タイプ	症状	特徴と原因	対策	簡易補修の可否
目地の開き		目地材の劣化により、目地材が完全に剥離し た場合に生じる	漏水防止の処置 補修材としてシーリング材、止水 セメント、モルタル、テーブなどが 使用できる	0
目地の損傷		モルタルなど固まった後に伸び縮みしない材料 では、目地の動きに追従できずに割れてしまう		0
ひび割れ (縦方向)		コンクリートが固まるときに発生するひび割れ であり、それ以上成長する可能性は低い。本 数も少なく、間隔をあけて発生している場合が 多い		0
ひび割れ (斜め方向)		地震や地すべり、大型車両の通行など外から 大きな力が加わって発生した可能性が高い	重大な損壊につながる場合があるため、状態を記録し専門家に相談 (水路の設置位置や構造の見直し、鉄筋の腐食対策や塩分などの原因物質の遮断など大がかりな対策が必要)	×
ひび割れ (亀甲状・網 目状・直線)	图 臺灣	凍害や塩害、アルカリ骨材反応と呼ばれる現象によって発生している可能性が高い。ひび割れがどんどん成長していく		×
摩耗		表面に凸凹がある。水の流れによりコンクリートが摩耗して、粗骨材といわれるコンクリート中の砂利が表面に現れることにより生じる	コンクリート粗骨材がはがれているなど状態が悪化していく場合、専門業者に補修を依頼(壁の厚さを修復する作業等)	×
穴あき		コンクリートを打設したときの締め固め不足などにより発生する。放っておくと中の鉄筋が腐食したり、粗骨材が剥がれ、壁の反対側まで穴が貫通することもある	専門業者に補修を依頼。ただし 表面を叩いても粗骨材が剥がれ ず、穴の深さが3cm程度までであ れば簡易補修による対応が可能	Δ
沈下・たわ み・変形		広範囲にわたって構造物の沈下や蛇行、段差が生じている場合は地盤沈下が原因。周辺地盤の陥没、ひび割れ、背面土の空洞化が生じている場合は土砂の流出が原因。たわみ、変形は目視で確認でき、周辺地盤の外力が原因	重大な損壊につながる場合があ るため、状態を記録し専門家に 相談	×

簡易な補修対策の紹介

日地補修、ひび割れ補修工工法 工法断面図 写真 充填工法 被覆工法 被覆工法 接着剤(ブライマー) デーブ

Y 広域活動組織レポート

「高森町多面的農地保全広域協定運営委員会」

【はじめに】

前回号では、本年度新たに立ち上がった 7 つの広域活動組織のうち、安曇野市の 5 組織について紹介しました。

今回は残り2組織のうち高森町の広域活動組織についてご紹介します。

【高森町の広域化】

〇高森町の概況

高森町は、長野県南部に位置し、天竜川右岸の段丘の変化に富んだ 美しい自然を巧みに利用し、発展してきた人口約 13,000 人の町です。

県内では比較的温暖な地で、天竜川と支流の河岸段丘により形成された起伏に富んだ地形を利用し、桃、梨、リンゴなどの果樹の生産が盛んで、市田柿は特産として県外にも多く知られています。



〇多面的機能支払の取組

高森町は、果樹園、水田、畑が混在する農業体系で、多面的機能支払には、昨年度は27組織が、41%のシェアに当る約400haの農地を対象に活動しています。

取り組み内容としては、集落ごとの水利組合などが中心となり、農地維持と施設の長寿命化を行っています。

昨年度5年の計画を終了した18組織のうち、15組織が統合して本年度から 1 広域活動組織に生まれ変わり、本年度は町全体で10組織が活動を継続しています。



〇広域化の経緯

高森町では、平成26年度の多面的機能支払制度移行から活動組織が増加し、全体で27組織となり、町の対応も多岐に渡り、事務軽減が課題となっていました。また、活動組織からも広域化について要望が寄せられていました。

こうした状況を踏まえ、平成28年頃から広域化に係る検討を進め、 活動組織とも情報を共有してきました。

結果、平成30年度で1期目の計画が完了する組織を対象に広域 化することになり、15組織が参加して広域活動組織の誕生が実現し ました。



〇広域活動組織の概要

高森町多面的農地保全広域協定運営委員会は、平成30年度で5年計画を完了した15組織が参加して立ち上がりました。

本年度は、各組織とも昨年度までの活動を継承して、それぞれの組織ごとに農地維持活動、資源向上活動(長寿命化)を実施します。

広域運営委員会は各活動組織に、町及び町営農支援センターが加わり、会長は営農支援センターの理事長が就いて、事務

局長(会計)は役場で担う体制となっています。

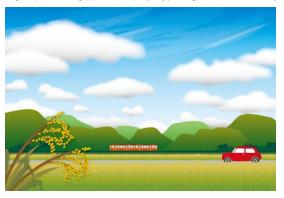
事務局は、現在役場で担う形になっていますが、今後は営農支援センターに事務局員を配置して、いくことを検討しています。

〇広域化の特徴

- ・各組織の活動は、地域性を尊重するため、従来どおりの活動を継続して実施しています。
- ・営農支援センターが参加団体となることで、遊休農地対策として農地の保全 活動をより積極的に展開することが可能となっています。
- ・営農支援センターに広域組織の事務局員を確保して、各組織の事務軽減と 広域組織としての効率的な事務処理を図ります。
- ・長寿命化対策として、広域化のメリットを活かし、交付金の柔軟な活用を図り、施設の補修等を効率的に実施しています。
- ・長寿命化対策の工事事務手続きは、各組織が行うことは負担が大きく、各組織の負担軽減を図るため、事務局で一括管理執行するよう検討しています。

〇広域化の課題

- ・本年度は各組織とも従来どおりの活動を継続してもらうため、広域化のメリットが感じられないため、 各組織に対して今後の対応を十分に理解してもらうよう説明しています。
- ・広域に参加していない9組織は、平成27年以降に活動を開始した組織であり、それぞれ5年計画が 終了した時点で広域組織に参加してもらうよう合意形成を図っていく必要があります。



- ・資源向上(長寿命化)を広域事務局で管理執行を担うに 当って、各組織との調整を十分に行うシステムを構築し ていく必要があります。
- ・広域事務局員について、長寿命化対策など技術的知識 を有する人材確保が必要となり、営農支援センターへの 配置を検討しています。
- ・現在、町の6割近い農地が交付金の対象農地となっていないため、取組を如何に拡大していくかも課題となっています。



〇今後の展望

・広域化1年目は、各組織とも従来とおりの事務処理となりますが、今後役場と営農支援センターが連携して、広域化のメリットを各組織が享受できるよう、早期の事務局体制の構築を図ります。また、残りの組織の広域参加を実現し、町1つの組織を設立することを目指しています。



₹事務局から

今回は、技術研修会・(水路の目地補修)の様子をご報告しました。両会場ともに大勢の皆様にご参加いただき有難うございました。

今後とも各地域の様々な事例を皆様に紹介してまいり ますので、よろしくお願いいたします。

■問い合わせ先

長野県農業農村多面的機能発揮促進協議会

(担当:田中・白石)

TEL 026-219-6351 FAX 026-219-6352

E メール nagano-tamenteki@wonder.ocn.ne.jp

URL http://www.nagano-nouchimizu.net/